

# 市民と未来のための行政改革

- 市民サービスの向上と財政の健全化を目指して -

## 五條市行政改革推進本部を設置

昨年9月に行なった市村合併は、大きな行政改革ですが、より幅広い市民ニーズにこたえ、市民サービスの向上を図るため、また、最小の経費で最大の効果を図るため、昨年11月4日、

市長自らが本部長に就任して「五條市行政改革推進本部」を設置し、現在、全庁一丸となって行政改革に取り組んでいます。



### 18年度の行政改革への取り組みは...

#### (2)「集中改革プラン」の策定

平成18年度を起点とする平成22年度までの5か年で実施する具体的な取り組み項目と取り組み方法を掲げた改革の計画を策定し、市民のみならず平成18年度末を目標に公表する予定です。

#### 「集中改革プラン」の主な項目

事務・事業の再編・整理、廃止・統合  
 事務事業の効果や効率性等の観点からの見直し

民間委託等の推進

民間活力を導入し、より一層のサービスの向上と業務の効率化のため委託可能な選択を検討

定員管理の適正化

計画的な職員数の抑制に仕組み、平成22年4月1日の職員数を明示するための検討

手当の総点検をはじめとする給与の適正化  
 総人件費の抑制のため、各種の手当て等について検討

経費節減等の財政効果

歳入が減少する状況の下、歳入の確保のため、市税徴収率の向上等の検討

(1)「新行政改革大綱」の策定  
 本市の実態に即した効率的な行政システムの確立を目指します。

### 資料 平成16年度決算（旧五條市のみ）

#### 会計別決算

[単位：千円]

	収入済額	支出済額	差引	翌年度繰越財源	実質収支
一般会計	15,933,562	15,419,881	513,681	171,292	342,389
特別会計	10,647,653	10,161,815	485,838	43,113	442,725
合計	26,581,215	25,581,696	999,519	214,405	785,114

\*特別会計は国民健康保険、簡易水道、老人保健、下水道事業、墓地事業、介護保険の合計

#### 市債残高

[単位：千円、%]

会計別	残高	前年度比
一般会計	21,214,123	1.3
簡易水道特別会計	206,615	△ 5.9
下水道事業特別会計	10,217,107	1.4
水道事業会計	3,058,515	△ 6.0
合計	34,696,360	0.6

#### 主な財政指数

[単位：%]

項目	平成14年度	平成15年度	平成16年度
財政力指数	0.435	0.435	0.445
経常収支比率	96.9	97.4	102.2
起債制限比率	12.6	13.1	14.3

#### 用語の解説

実質収支	収入済額から、支出済額を差し引きさらに翌年度繰越財源を控除したものです。
財政力指数	財政力を示す指数。1に近い、あるいは1を超えるほど財政的には豊かです。
経常収支比率	経常的に入ってくる歳入が経常的に支出される経費にどれだけ使われているかを示す指数です。市町村では75%を上回らないのが望ましいとされています。
起債制限比率	事業の財源となる市債の発行を抑制する指標となるもので、20%以上になると一部借入れが制限されます。

行政改革に関する問合先  
 企画調整課 行財政改革推進係

☎（内線306）